

2024 年度 エグゼクティブメンターコースプログラム

第1回	2024 年 4 月 20 日 (土) ニューノーマルの時代の究極の SQ メンター育成「メンタリングマインド&スキル開発」  吉川 宗男 フォーカス：共生（創）力、新価値創造力、統合力、状況対応力、相互支援力、共感力、信頼関係構築力 受講生一人ひとりが究極の SQ メンター像を目指し、人間力モデルとメンタリングプロセスをベースにその究極 SQ メンターマインドとスキルを開発していきます。結果として、これからの企業や社会を支援していける究極な SQ メンターになれるよう支援指導します。
第2回	2024 年 5 月 18 日 (土) メンターの自己認識力を高める「個人の Mission & Ikigai の創造」  鷲見 健司 フォーカス：自己認識力、他者理解力、人間力、自己 MVP の明確化 自己を知ることばあゆる人（メンター）にとって自己実現、人生の充実のための起点となる。自己認識（セルフアウェアネス）力は VUCA 時代の世界のビジネスリーダーの最重要素養として新たな常識となりつつある。「新しい時代の働き方」や「ニューノーマル」が求められるなかでその重要性は更に高まっており、マインドフルネスの起源である仏教の本質も自己を知ることである。自己認識を強化するために、曖昧に捉えられがちな「人間力」を科学的に定義した「全人的人間力」のフレームワークを通じて自己を分析する。「全人的人間力」の 5 つの力の芯となる「活力」の主要構成要素である自分自身のミッション、ビジョン、価値観（Values）の明確化を通じて自己認識強化を図る。
第3回	2024 年 6 月 15 日 (土) 自己認識（セルフアウェアネス）力を高め、周囲の人と「価値創出」できるメンターになる  李 順葉 フォーカス：人間関係構築力、相乗効果力、自己認識力、他者理解力、洞察力、柔軟力、コミュニケーション力 これからの時代は、新しい「価値創出」がさらに求められています。個の特徴を生かしながら互いに良い影響を与えながら前に進んでいく状況を創り出すことがこれまで以上にリーダーや指導者に求められています。人と人の関わりの相乗効果を生み出すためには互いを受容し理解し合う場を創ることが必要です。 自身の行動パターンの強みや弱みを知り、それが人に与える影響を認識できているかどうかで他者との関係性や、チームへの影響力が変わります。自己認識が深まることで必要な変化を起こせるようになります。
第4回	2024 年 7 月 13 日 (土) どんな状況でも楽しめる心を鍛えて、効果的なメンターになるための Yes, and 力（インプロヴィゼーション：即興力）向上  槌築 ひかる フォーカス：インプロヴィゼーション力（即興力）、つながり力、想像力、創造力、柔軟力、活力、自己表現力 近年 VUCA 時代・予測不可能な時代ともいわれている中、ますます自分を俯瞰して捉えられる柔軟な人財が求められています。「インプロヴィゼーション（即興演劇：脚本のない演劇）」は、まさに予測不可能な他者からの投げかけや、状況に陥った時に、アジャイルに対応する姿勢とスキルの鍛錬に最適です。 また、インプロヴィゼーションの軸となる Yes, And な関わり方・在り方、つまり、どんな出来事が起こっても肯定的に受け入れ、提案していく姿勢は、心理的安全性を生み出し、メンターとメンターの信頼関係をより深める効果があります。
第5回	2024 年 8 月 24 日 (土) 意欲と能力を引き出す「メンタリング スキル・トレーニング」  大野 雅之 フォーカス：質問力、傾聴力、自己理解力、他者理解力、伝達力 全ての教育のシチュエーション（子育て・学生指導・部下指導や支援・等）で役に立つ、相手の心を掴み、能力や意欲を引き出す様々なヒューマンスキルを 1 日で習得します。良き支援者/良き指導者(上司、親、先生)とはどんな人なのでしょう。私は、相手の能力や意欲を、あらゆる角度から（潜在領域も含む）引き出すことができる人財だと思っています。この講義を受けて、是非、たくさんの「引き出す」コツを、実際に体験し、そのスキルを習得して下さい。
第6回	2024 年 9 月 28 日 (土) 「ウェルビーイングで育むメンタリング講座」～「ウェルビーイングダイアログの実践」  岡本 直子 フォーカス：人間関係構築力、対話力、幸福力（ウェルビーイング）、共育力（共に育むから） ウェルビーイング（幸せ）は伝播する、という研究結果があります。 メンターである人がウェルビーイングな存在であることが、よりよいメンタリングにつながります。 本講座では、受講される方々のウェルビーイングが向上と、受講者と周囲の方々とのつながりを深め、育んでいくことを「ウェルビーイングダイアログ（対話）」を通じて学び、実践へと導きます。